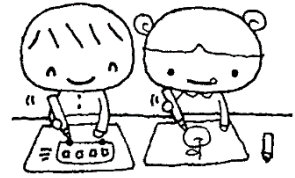


おひさま



令和3年3月16日

＜今学期の満3星4組さん＞

○作品展は「そらいろのたね」のお話を作ったよ

きつねを作りました。みんなに「どこを付けた？」と聞くと「私は目。」「ぼくはまゆげを付けた。」と口々に言っていました。そらいろの家に自分たちの窓を貼りました。二人で協力して貼る姿が微笑ましかったです。大きなそらいろの家ができると「やったー」と大喜びでした。「きつねさんみたいに、いじわる言うとお家こわれちゃうから、言わない。」と言っていました。ちゃんと「そらいろのたね」のお話が分かっているんだね。すごい。

○豆まきをしたよ

「かわいい鬼にする。」「かっこいい鬼にする。」と言いながらそれぞれ面白い表情の鬼のお面ができました。いよいよ幼稚園の節分の会の日です。朝から「鬼が来るのが、こわい。」と話していた星4組さん。鬼に人間の子だと見つからないように鬼のお面を被ることにしました。そして、怖がりながらも、豆をまいて、鬼をやっつけました。

満3歳のお友だちが、手を洗うとき、一度、ちゃんと水道の水を止めて、石鹸をしっかりと泡立て、丁寧に洗っていました。水を出しっぱなししないで、ていねいに手を洗う星4組さん。素敵です。

＜今学期の年少星組さん＞

○作品展、みんなで作ったよ

今まで作ってきたものを、子どもたちの手で並べていきました。川のビニルテープを並べていくと「わあ、足りたねえ。」という声が聞かれ、子どもなりに考えているんだと感心しました。ベットを置くと「オー」と歓声が聞かれ、グリンピース君を置くと「いいねえ。」と満足している様子でした。当日は「ここ見て。」と親の手を引き、お話する姿に成長を感じました。

○移動水族館がきたよ

最初は「怖い。」と言っていた子どもたちですが、友だちが触っているのを見たり、教師と一緒に触ったりすることで、なまこやヒトデやネコサメに触ることができました。教室に戻ってくると「ヒトデの天こちょは、おしりだって。」「ネコサメはざらざらしてた。」「ペンぎん、かわいかった!」と興奮ぎみの子どもたちでした。

先日、子どもたちの背が、すーと高くなっているのに気づきました。1年の成長は大きいです。こどもたちとの1日1日を大切に過ごしていきたいです。

<今学期の年中花組さん>

○作品展をやったよ

グループ制作の絵の具をやりました。お互いに「そこ、まだ塗れてないよ。」「こっちやるから、そこ、お願い。」と協力する姿が見られました。子どもたちに「これ、どうしたいの?」「どうやって作りたいの?」と聞くと少し自分の考えが言えるようになってきました。教師から案を出すこともありますが、成長を感じた瞬間でした。当日は「ぼく、これを作ったんだよ。」「これは、〇〇でできているんだよ。」と話しながら回っていました。中には、お友だちの作品まで説明し、褒めている子が何人もいました。とてもうれしかったです。

○縄跳び大会がんばったよ

1月から縄跳びの練習をしてきましたが、縄跳び大会が近づいてきて、できるようになった子が多くなりました。「見てて。」「数えて。」とさらにやる気が出て、燃えている子どもたちでした。縄跳び大会ではいつもよりたくさん跳べた子、跳べなかった子とありましたが、みんな自信がつき前向きになっている様子が分かりうれしかったです。今年は縄跳び大会で前回り跳びを「1 2 4 1 回」跳んだ子がいました。今までの年中さんの最高記録です。

いっぱい身体を動かし、いっぱい頭を働かせ、体も心も頭も大きく成長した花組さんです。雪組さんへのあこがれを持ちながら、進級します。4月にすてきな雪組さんになって園に来るのが楽しみです。

<今学期の年長雪組さん>

○作品展みんなで協力したよ

個人制作では、顔のパーツを付けたことで愛着がわいたのか「僕、2号ができた。」と喜んでいました。グループ制作では「そっち持って。」「はりこでお肉をつけすぎたから、少しとったんだ。」と調整をしながら作っていました。洋服や飾りも自分たちでいろいろなアイディアを出し「これが欲しい。」「これを使いたい。」と積極的に行っていました。出来上がった他のグループの作品を見て「すごいじゃん。」「そうやったのか。」と友だち同士で話していたのが頼もしかったです。

○節分の会をやったよ

節分の会で、怖がる子が多かったのですが、男の子が「守ってあげるから大丈夫だよ。」と言ってくれました。「こうやって来たら、こうする。」と動きのシミュレーションもして、実際守ってくれました。「パンチはできなかったけど、豆でやっつけた。」と言っていました。「家に来ても、もうやっつけられる。」と自信がついたようでした。

先日、ひな祭りの音楽会がありました。みんなの心が一つになった歌声も、歌うときの態度もとても素晴らしく、年長さんの成長を感じました。何か困った時、悲しくなった時、とっても嬉しいことがあった時、いつでも上島幼稚園を訪ねてきてください。私たちは、いつでも待っています。お友だち、おかあさん、おとうさんを、いつでも応援しています。